

浅間大社

大型バス駐車可、有料
富士宮駅より徒歩7分



NHK 大河ドラマ「風林火山」紀行

勘助ゆかりの地

幼い頃の勘助をしのぶまち 富士宮市

富士宮市観光協会内「勘助コーナー」

B級グルメ
初代チャンピオン
富士宮やきそば



富士山せせらぎ広場
大型バス駐車可
富士宮駅より徒歩5分



山本周辺お勤め散策コース

- 富士根駅**
JR身延線
富士宮駅より5分140円
富士駅より13分200円
 - 0.9km・徒歩15分
 - 山本八幡宮**
 - 0.6km・徒歩10分
 - 誕生地の碑**
 - 0.1km・徒歩2分
 - 母・安女の墓**
 - 1.9km・徒歩34分
 - 勘助坂**
 - 1.3km・徒歩25分
 - 代信寺**
 - 1.2km・徒歩27分
JR身延線
富士宮駅まで8分180円
富士駅まで10分180円
- ◎歩く時間は目安です

※周辺は道幅も狭く、住宅街のためバス及び車両の通行には適しません。また、トイレ及び駐車場が整備されていませんのでご注意ください。周辺は工事が頻りに予定されていますので商工観光課までお問い合わせください。近隣地区の迷惑にならないよう、ご配慮をお願いいたします。ゴミは持ち帰りましょう。

富士宮市が生んだ稀代の軍師 山本勘助

山本勘助は、「風林火山」の旗のもと、戦国最強といわれた武田軍団に仕上げた武田信玄の軍師、「如意袋」としてその名をとどろかせていますが、その生年生地は不詳の武将です。しかし、「甲斐国誌」や富士宮市を中心に伝わる資料では、富士宮市山本で生まれたと伝えられています。

駿河の国富士郡山本村(富士宮市山本)に父・吉野貞幸、母・安女の三男として生まれ、幼名は源助といました。(生年については3説あります。)家学の師範をしていた父から、吉野家にあった兵法書を読み賜がせられて育ったといわれ、また、母とともに山や畑に出かけ、自然の中で自給自足の生活を身につけて育ったこともあり後の放浪の旅に役立ったようです。12歳の時、三河国半久保の大森勘左衛門の養子となりますが、20歳の時、養父に実子が生まれたため、その昔、父が諸国遍歴・文武研鑽の旅でたどった道、河内(大阪府)、美濃(岐阜県、岡山県)、防長(山口県)を目指し旅に出ます。その後、50歳の頃、武田信玄に召し抱えられますが、これは、吉野家が武田家と同じく源氏の流れをくむ家系でもあり、穴山氏との血縁、地縁もあったことから信玄は勘助を高く買ったのではないのでしょうか。

富士山の南麓、「富士宮市・富士市」には、その功績人柄から勘助や信玄、武田家ゆかりの地が数多く存在しています。

(※吉野家は、南北朝時代に大和国(奈良県)吉野郷を領していた吉野冠者源重季が源流とされ、南北朝の争いのあと、山本村に定住したとされ、清和源氏の流れをくんでいます。勘助が生まれた頃、吉野家は、今川と北条に対抗して武田側の葛山氏につき、戦功を上げていました。また、勘助の伯母は武田氏と血縁をもつ穴山家に嫁いでいます。)

勘助・信玄ゆかりの地



山本八幡宮 (はらまんぐう)

吉野家初代「貞信」が、多田の森八幡宮を創建、現在の八幡宮となりました。祭神は応神天皇ですが、この神社の社叢を多田の森といい、祭神は、多田満神(源満仲)だとも言われています。八幡宮は、源氏の氏神で、武の神として知られています。現存する山本八幡宮本殿は、江戸時代末期(1853)に再建され、厨子には複雑な彫刻がされ、木鼻は、手前に龍、奥に獅子、側面に象が彫られています。なお、勘助にゆかりのある「吉野」、「山本」の家紋は、**三つ巴**(神社の紋)が多く、興味深いところです。



母・安女の墓

吉野本家の葬地を襲撃した際、孤立していた「安女の墓」を吉野本家の墓域の中(一番右手)に移し、あらかじめ供養したものです。誕生地の碑より南に100mの石積みの上にあり、墓前には解説の碑も建立されています。



勘助誕生地の碑

吉野本家に、大正13年静岡県産の徳田全も加えられ、昭和天皇の御成婚を祝して、建てられた記念碑です。江戸末期の長屋門が迎える、門前左手奥にこの石碑が建っています。碑の裏面には、勘助の出生から川中島の合戦で戦死するまでの事跡が略記されています。(住所:富士宮市山本165)



勘助坂 (かんすけざか)

祖父貞久は、長男貞宗に家督を譲り、吉野本家の近く石の宮に、次男貞幸を連れて隠居したといわれています。そこには、勘助が子供の頃遊んだ、「勘助坂」と言い伝えられている急坂があります。竹馬に乗った勘助が、近所の仲間を引き連れて一気に下って遊んだと語り伝えられています。(後藤製茶-勘助坂-代信寺までの道は、道幅が狭いため、車両の通行には適しません)



代信寺 (だいしんじ)

父貞幸、母安女とされる小さな木像と祖父貞久の勝子が残っています。祖父貞久が建立した宗持院に納められていましたが、摩訶寺となり、代信寺に移されたものです。宗持院の本寺が、吉野家の菩提寺、先照寺でした。(住所:富士宮市山本1236)

先照寺 (せんしょうじ)

吉野家の最初の菩提寺であり、祖父貞久が信仰した細敷天神が寄進され、穴山信友が奉納した本尊があります。信玄の駿河侵攻後、武田家より厚い庇護を受け、穴山信君からも厚い庇護を受けました。(住所:富士宮市大里田1)

医王寺 (いおうじ)

勘助と祖父貞久のものといえられる墓が、山本家の墓群の中に残ります。(住所:富士市比奈1546)

駐車場の ご案内

●富士山本宮浅間大社

祭神は浅間大神、またの名を木花之佐久夜叉尊命といい、この大神の出現鎮座する富士山をお祀りしています。本宮は富士山頂上に鎮座しています。国の重要文化財の本殿は神社建築中唯一の楼閣造(浅間造)で、拜殿・楼門と共に徳川家康の本意によるものです。源頼朝、武田信玄の信仰も厚く、徳川四年(1193)頼朝は富士の登壇の際、流鏝馬を奉納したと伝えられ、現在も五月五日の流鏝馬祭として行われています。また、本殿右手前には信玄のお手籠えと伝えられる桜葉の「世が春になると綺麗な花を咲かせます。駐車場が本社南側と西側に整備されています(大型バス駐車は南側に駐車可、有料)。(住所:富士宮市宮町1-1、0544-27-2002)



●富士山せせらぎ広場

浅間大社御鎮座1200年(平成18年)に合わせて整備されたこの広場には富士山本宮浅間大社の第一鳥居が富士山を背景に復活しました(高さ16m)。富士山の伏流水を利用した足湯施設と共にトイレや無料駐車場も整備され、大型バスも駐車が可能となっています。

(大型バス9台、普通車30台、9:00-20:00)



お問合せ先

- (社)富士宮市観光協会: TEL.0544-27-5240 <http://www.fujinomiya.gr.jp> J.R身延線富士宮駅北口(勘助コーナーを設置しています)
- 富士宮市商工観光課: TEL.0544-22-1155 <http://www.city.fujinomiya.shizuoka.jp>
- 富士市観光協会: TEL.0545-64-3776 <http://www15.ocn.ne.jp/~fuji3776>
- バス: 富士急静岡バス TEL.0544-26-8151
- 高速バス予約先(東京駅発、富士宮駅・新富士駅・富士駅・吉原中央駅 着): 富士急静岡バス TEL.0545-71-2495
- 絵本「富士のお山の勘助さん」(著:長谷川忠夫、画:中川としじ、B5判、18頁、1部2000円)

山本勘助と誕生地富士宮市山本地区とのかわかりやすく書いてありますので、お土産に最適です。

※この冊子は厚紙と薄紙にやさしいインクを使用しています。